

講演と映画の会への「招待」

「尿が近い」「夜間にトイレに起きる」「尿がもれる」「尿の勢いが強い」など、排尿の問題で悩んでいる人はたくさんいます。日本排尿機能学会の調査によると、60歳以上では78%が何らかの排尿の問題を抱えていることが報告されています。

「尿が近い」のは、「年だから仕方ない」という声をよくお聞きします。頻尿や尿失禁のひとつに、加齢に伴い膀胱の伸展性が弱まり、しっかりと尿を膀胱に溜められなくなって発生する過活動膀胱があります。その一方、前立腺肥大症や神経因性膀胱のために尿をしっかり排出できず、膀胱の中に尿が多量に残存するために何度も尿意を感じてしまう方も大勢いらっしゃいます。前立腺肥大症で「尿の勢いが強い」状態を放置すると、飲酒や風邪薬の内服を契機に突然排尿ができなくなることもあります。腎不全になる恐れがありますので、早急に病院を受診してください。

さまざまな排尿障害について、その原因と治療法についてお話しさせていただきます。

なお、講演終了後は映画の上映を予定しております。皆様お誘い合わせの上、多数ご来場をお待ちしています。



講演 「頻尿と尿失禁について」

講師 久我山病院

泌尿器科

上杉達也先生

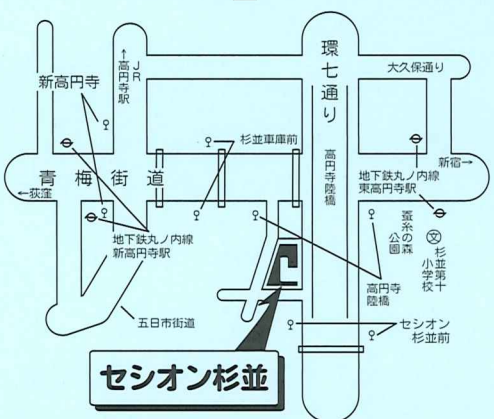
映画 「男はつらいよ〜口笛を吹く寅次郎〜」

日時 平成三十年十月三日(水)

午後一時三十分から四時三十分

場所 セシオン杉並(梅里一―二十二―三十二)

入場無料 予約不要



主催 杉並区医師会

後援 杉並区

杉並区阿佐谷南三―四十八―八
電話 三三九二―四一―四